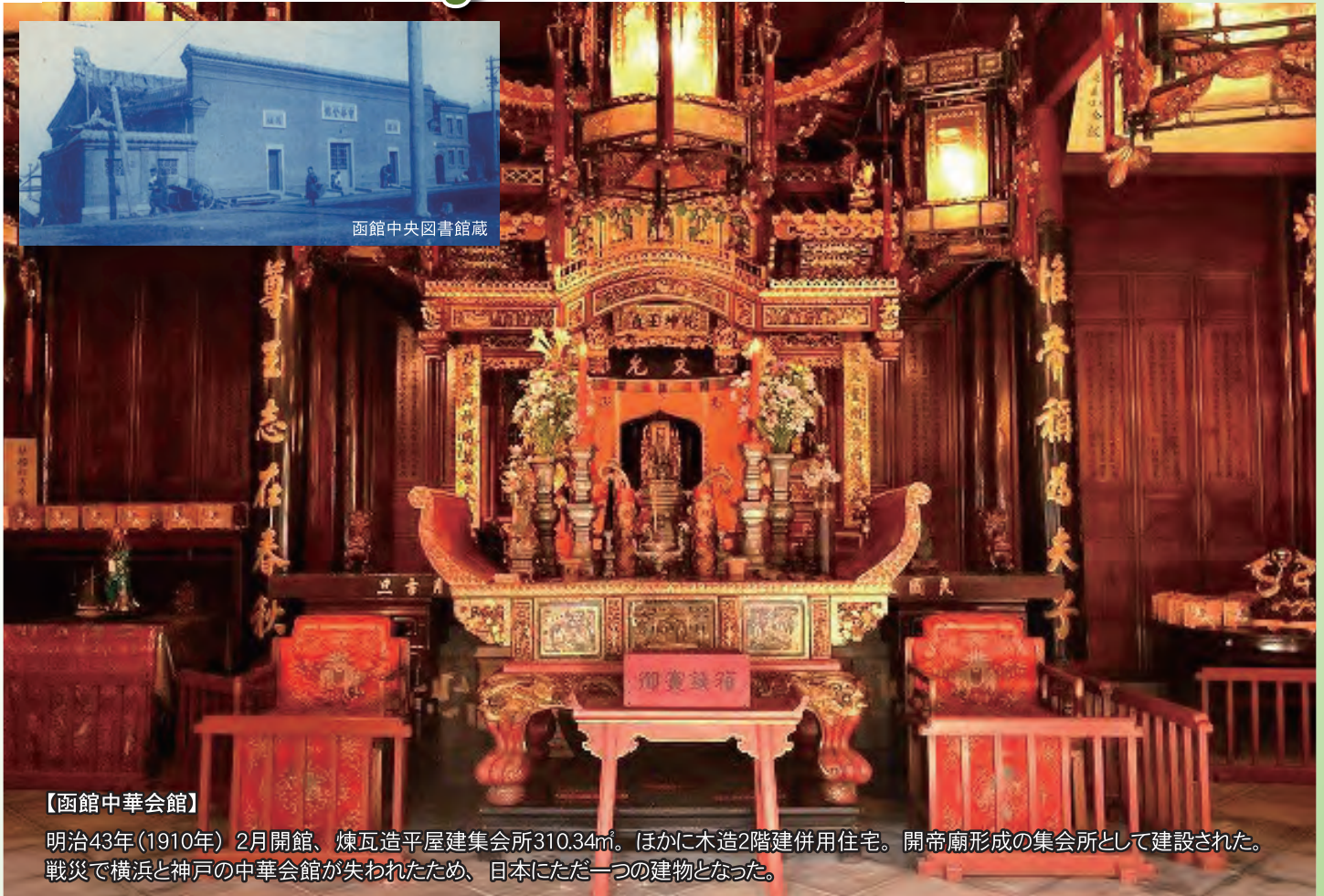


2017-2018 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 9



【函館中華会館】

明治43年(1910年)2月開館、煉瓦造平屋建集会所310.34㎡。ほかに木造2階建併用住宅。開帝廟形成の集会所として建設された。戦災で横浜と神戸の中華会館が失われたため、日本にただ一つの建物となった。

写真提供／函館市公式観光情報サイト「はこぶら」



**ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE**

ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度ガバナー **国立金助**

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512

E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ
「ロータリー：変化をもたらす」



**国際ロータリー第2510地区
 2017-2018年度地区目標**



- 1. 世界ポリオデーの支援**
 あと少しで我々ロータリアンは「ポリオ撲滅達成」という歴史的瞬間に立ち会おうと
 しています。
- 2. 地区委員会と各クラブの連携強化**
 地区委員会には、クラブ支援をする大切な役割があります。
 地区への相談窓口「クラブ管理運営委員会」を設置。
- 3. 取り戻そう「ロータリーの心」**
 そして伝えよう「次世代を担う青少年へ」。
 ロータリーの「人の役に立とう」と言うサービス精神は、112年経った今も健在です

CONTENTS

●ガバナーメッセージ..... 1	●新会員のご紹介／訃報.....12
●2018-2019年度R I 会長バリー・ラシン氏 2	●米山奨学生のご紹介13
●2019-2020年度R I 会長マーク・ダニエル・マローニー氏 3	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付13
●R I 会長代理のご紹介..... 4	●ハイライトよねやま14
●新しいロータリーの友..... 5	●ガバナーノミネー候補者推薦のお願い 14
●クラブ職業奉仕委員会は何をすればいいの？ 6	●ロータリーコーディネーターNEWS 15
●クラブ支援委員会について 7	●地区カレンダー9・10月16
●ガバナー公式訪問報告 8	●出席率・会員数17
●「120万本の植樹事業」ロータリーの森 植樹祭ご案内11	●2017-2018年度 地区大会のご案内18
	●文庫通信19



ガバナー公式訪問 (6500kmの旅)

国際ロータリー第2510地区

2017-2018年度ガバナー **国立金助**

(函館RC)

クラブ公式訪問が始まるに当たり、地区幹事の心配を押し切り、「夫婦二人で自家用車」を自ら運転して行く事を決めました。女房の条件は温泉と一番搾り（ビール）、そして、クラブ例会には出ない事が条件で、もちろん快諾しました。

7月11日、深川・妹背牛ロータリー訪問よりスタートして、8月25日に31番目の苫小牧ロータリークラブの公式訪問が終り、車で走った距離は、約6,500kmになりました。

最初7月10日函館から深川まで、6時間30分かかりました。さっそく荒谷会長の配慮で夕食会を開いて戴きました。夫婦とロータリー友の藤井方雄会員の三人で参加させて戴きました。とても心温まる歓迎を受け、疲れもいっぺんに吹き飛んでしまいました。

その後、どのクラブへ行っても心温まる大歓迎を受け、大変恐縮しております。

実際に体験して見て、各クラブの熱意がひしひしと感じると共に、地域に密着した活動のすばらしさを知り、ガバナーとしてより一層の責務を強く感じております。

他クラブの参考になる事業については、ガバナー月信でも、よりくわしく紹介して行きたいと思えます。

夫婦二人の車の旅も経験を重ねる内に慣れ、今では40数年前の出会いから今日までの思い出話、子供や孫のこと等、二人の時間はたっぷりありますので、いろいろな話しをしながら運転しています。ロータリーでは、年と共に夫婦二人で一人前であることを感じながらすばらしい夫婦の時間を過ごしております。

ロータリアンの皆さんにも「夫婦二人の車の旅」をスイセン致します。ちょっと話しが横へずれてしまい、申し訳ございません。

各クラブの例会では、必ず三つのお話しをしました（時間がある時は他の話しもしました）。

一つ目は、ロータリーイメージポスターの説明とお願いをしています。

イメージ向上が会員増強につながることを期待して三枚のポスターを作成し、2510地区2,623人全員へ配布します。ガバナー補佐には各クラブへ持参することをお願いして、会員の皆様には、自らの会社、作業場等お客様の見える所へ、配って戴く作業のお手伝いをお願いしました。



「ロータリーは世界組織で入会すれば世界中の人と友達になれます。」

200以上の国と地域に広がり会員総数123万人を超えています
日本には、2,265クラブ89,000人の会員がおります。



「ロータリーは、ポリオ（小児まひ）撲滅の為、奉仕しています」

1985年当時は、世界125カ国に35万人の患者がおりましたが、2017年7月31日現在、ポリオ症例数は、パキスタン3人、アフガニスタン5人の合計8人となり、ここ数年の内に「ポリオ撲滅達成」と言う歴史的瞬間に立ち会った時、一般市民に我々ロータリアンが撲滅した事を知って戴く為にも2510地区全会員が【END・POLIO・NOW】の赤いバッジを普段からつけて戴くことをお願いしています。



「ロータリーには、国内最大の米山記念奨学会がある」

日本で学ぶ外国人留學生を毎年約750人支援しています。

これまでに19,000人以上の留學生を支援しています。

二つ目は「120万本の植樹」のお願いをしています。イアン・ライズリーRI会長は、全世界のロータリアン120万人と同数の120万本の植樹を2018年4月22日のアースデーまでに行うことを全世界のロータリアンに呼びかけております。

第2510地区でも3月会長エレクト研修セミナー、各クラブへのアンケート調査をへて、全会員数と同じ2,630本の植樹を下記の方法ですることに致しました。

- ①各クラブ単独で実施(30クラブ)530～600本の植樹
- ②地区としては、9月9日当別の道民の森で1500本の植樹。海外では、タイ・ノンカイで600本の植樹(2018年2月～3月頃)

三つ目は、私は「夢を語り合い楽しい一年に」本年度のテーマとしました。

若者と夢を語り合う場として、入会3年未満の新会員研修セミナーを2018年1月27日(土)・28日(日)登別グランドホテルで一泊二日の研修を実施致します。この場で若者にロータリーの夢を大いに語ってもらい、ロータリーの楽しさも経験してもらいたいと思っております。

以上の事を中心に公式訪問例会のとき、お話しさせて戴いております。

明日から32番目の伊達ロータリークラブ公式訪問が始まります。皆さんと会えるのを楽しみに致しております。

2018-19年度ロータリー会長に バリー・ラシン氏が選ばれる

会長指名委員会は、2018-19年度国際ロータリー会長に、イーストナッソー・ロータリークラブ（バハマ、ニュープロビデンス島）所属のバリー・ラシン氏を選出しました。対抗候補者がいない場合、同氏は2017年9月1日に会長エレクトとして宣言されます。

ラシン氏は会長として、公共イメージの向上とロータリーのインパクトを広げるためのデジタルツールの活用を力を入れたいと考えています。

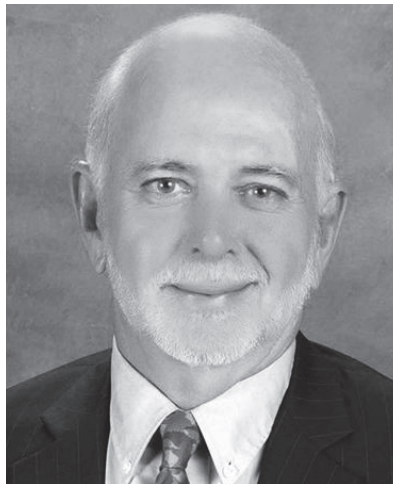
「ロータリークラブが行っている良いことを知っている人なら、それに加わりたいと思うでしょう。関心のあるすべての人がロータリーの使命を支える活動に参加できるよう、参加や入会を促進する新しい方法を考えなければなりません」とラシン氏。「ロータリーの可視性を高めれば、より多くの人に入会の魅力を伝え、世界中で多くの良いことを実現しているこの会員制組織を支えることができます」

フロリダ大学で保健・病院運営のMBAを取得し、医療教育機関であるAmerican College of Healthcare Executivesでバハマ初の特別研究員となりました。院長として37年間務めた医療機関Doctors Hospital Health Systemを最近退職し、現在は顧問を務めています。全米病院協会の生涯会員で、Quality Council of the Bahamas、Health Education Council、Employer's Confederationなど複数の団体の理事・委員長も務めました。

1980年にロータリー入会。RI理事を経て、現在はロータリー財団管理委員会の副管理委員長を務めています。また、RI研修リーダーとK. R. ラビンドラン2015-16年度RI会長のエイドも経験しました。

ロータリー最高の賞であるRI超私の奉仕賞のほか、2010年ハイチ地震後のロータリーによる災害救援活動を統率したことにより多くの人道賞を受賞しています。また、エスター夫人とともに、ロータリー財団のメジャードナー、遺贈友の会会員でもあります。

ラシン氏は今回、ロータリー会長エレクトとして今年7月に就任し、その2週間後に逝去されたサム・オオリ氏に代わり選出されました。



会長指名委員会委員は次の通り（敬称略）。

- Anne L. Matthews
（委員長、米国、コロンビア・イースト・ロータリークラブ〔ヒューストン〕）
- Ann-Britt Åsebol
（スウェーデン、ファールン・コッパルボーゲン・ロータリークラブ）
- Örşelik Balkan
（トルコ、イスタンブール・カラコイ・ロータリークラブ）
- James Anthony Black
（スコットランド、ダヌーン・ロータリークラブ）
- John T. Blount
（米国、セバストポル・ロータリークラブ）
- Frank N. Goldberg
（米国、オマハ・サバーバン・ロータリークラブ）
- Antonio Hallage
（ブラジル、クリチバ・レステ・ロータリークラブ）
- Jackson S.L. Hsieh
（台湾、台北サンライズ・ロータリークラブ）
- Holger Knaack
（ドイツ、ハルツォグトゥーム・ラウアンブルク・ムーン・ロータリークラブ）
- 黒田正宏
（日本、八戸ロータリークラブ）
- Larry A. Lunsford
（米国、カンザスシティ・プラザ・ロータリークラブ）
- P.T. Prabhakar
（インド、マドラス・セントラル・ロータリークラブ）
- M.K. Panduranga Setty
（インド、バンガロール・ロータリークラブ）
- Andy Smallwood
（米国、ガルフウェイ・ホビー・エアポート・ロータリークラブ）
- Norbert Turco
（フランス、アジャクシオ・ロータリークラブ）
- 渡辺好政
（日本、児島ロータリークラブ）
- Sangkoo Yun
（韓国、新漢陽ロータリークラブ）

2019-20年度ロータリー会長に マーク・ダニエル・マローニー氏が選ばれる

2017-18年度国際ロータリー会長指名委員会は、2019-20年度国際ロータリー会長に、ジケーター・ロータリークラブ（米国アラバマ州）所属のマーク・ダニエル・マローニー氏を選出しました。対抗候補者がいない場合、同氏は2017年10月1日に会長ノミネーとして宣言されます。

「クラブはロータリーの心臓部であり、ロータリーのあらゆることはクラブで起こる」とマローニー氏。弁護士であるマローニー氏は、草の根レベルでクラブをサポート・強化し、奉仕を大切にする会員制組織としてのロータリーの文化を守り、成長のために地域別の新たなアプローチを試みたいと考えています。

「ポリオが撲滅されれば、ロータリーが大きく認知され、多くの機会が訪れるでしょう」。そう語るマローニー氏は、世界でよいことをするグローバルな組織としてロータリーが世界を先導する立場に立てる可能性があると考えています。

税法、遺産、農業法を専門とするBlackburn, Maloney, and Schuppert法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、米国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。

地元ジケーターでも熱心に活動し、自身が所属する教会の財務委員長と地元カトリック学校理事長のほか、Community Foundation of Greater Decatur会長、Morgan County Meals on Wheels会長、United Way of Morgan County理事、Decatur-Morgan County商工会議所の所長を務めています。

1980年にロータリークラブ入会し、以来、RI理事、財団管理委員と副管理委員長、会長エイド、ゾーンコーディネーター、未来の夢計画リーダー、シドニー国際大会委員を歴任。現在は運営審査委員会委員であり、昨年度までロータリー平和センター委員会委員でした。ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受けているほか、ガイ夫人とともにポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。



会長指名委員会委員は次の通り(敬称略)。

Ann-Britt Åsebol
(スウェーデン、ファールン・コッパルボーゲン・ロータリークラブ)
Örsçelik Balkan
(トルコ、イスタンブール・カラコイ・ロータリークラブ)
James Anthony Black
(スコットランド、ダヌーン・ロータリークラブ)
John T. Blount
(米国、セバストポル・ロータリークラブ)
Frank N. Goldberg
(米国、オマハ・サバーバン・ロータリークラブ)
Antonio Hallage
(ブラジル、クリチバ・レステ・ロータリークラブ)
Jackson S.L. Hsieh
(台湾、台北サンライズ・ロータリークラブ)
Holger Knaack
(ドイツ、ハルツォグトゥーム・ラウアンブルク・ムーン・ロータリークラブ)
黒田正宏
(日本、八戸ロータリークラブ)
Larry A. Lunsford
(米国、カンザスシティ・プラザ・ロータリークラブ)
Anne L. Matthews
(米国、コロンビア・イースト・ロータリークラブ)
P.T. Prabhakar
(インド、マドラス・セントラル・ロータリークラブ)
M.K. Panduranga Setty
(インド、バンガロール・ロータリークラブ)
Andy Smallwood
(米国、ガルフウェイ・ホビー・エアポート・ロータリークラブ)
Norbert Turco
(フランス、アジャクシオ・ロータリークラブ)
渡辺好政
(日本、児島ロータリークラブ)
Sangkoo Yun
(韓国、新漢陽ロータリークラブ)



2017-18 年度地区大会 RI 会長代理のご紹介

イアン H. S. ライズリーRI会長は、2017-18年度当地区大会に国際ロータリー第3490地区の姚 啟 甲 (Chi-Jea Yao)パストガバナーをRI会長代理として任命されましたのでご紹介致します。

Chi - Jea Yao
姚 啟 甲

(台湾・第3490地区パストガバナー)

所属クラブ 蘆洲ロータリークラブ

職業分類 キャビネット金属製品 製造・販売

現 職 株式会社 三千貿易 代表取締役会長
株式会社 三千金属工業 代表取締役会長
馥誠国際有限会社 代表取締役会長

団体役職 台湾三千芸術・文化推進協会 理事長
台北市天籟詩吟社 理事長

最終学歴 中原大学工業工程学科

ロータリー歴

- 1988年 蘆洲ロータリークラブ入会
- 2001-02年 蘆洲ロータリークラブ会長
- 2008-09年 第3490地区ガバナー
- 2009-10年 RI 会長代理 (RIPR for D3500)
- 2009-12年 地区ロータリー財団委員会・委員長 (DRFC)
- 2011-12年 ロータリーコーディネーター補佐 (ARC)
- 2012-13年 ロータリー財団
台湾・香港・マカオ 恒久基金委員会・委員長
- 2012-13年 RI 会長代理 (RIPR for D3850)
- 2012-14年 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 (ARRFC)
- 2014-17年 ロータリーコーディネーター (RC)
- 2014-15年 RI 会長代理 (RIPR for D3750)
- 2016-17年 RI 会長代理 (RIPR for D3510)



表彰及び受賞

- 2010-11年 アーチ・クランフ・ソサエティ メンバー
- 2010-11年 ロータリー財団功労表彰状受賞
- 2012-13年 国際ロータリー 超我の奉仕賞
- 2012-13年 中華ロータリー教育財団 ミリオン寄付功労賞
- 2015-16年 ロータリー財団特別功労賞



新しい「ロータリーの友」

ロータリーの友 地区代表委員

藤井方雄

(函館RC)

平素は「ロータリーの友」をご購読いただき誠に有難うございます。皆さん御承知の通り、「ロータリーの友」は日本に於けるロータリーの機関紙です。

具体的に、その役割を述べますと、

1. 地域雑誌としての「友」は、ロータリアンがロータリーライフを深める為にも、又、クラブがRIと直結していると実感する為にも、必要な媒体であると言う事です。それ故に、ゴシップ記事やマンガを掲載したり、政治の話題や歴史小説を連載する事はいたしません。あくまでも「ロータリアンとしてどうか」がその目的となっております。
2. 「ロータリーの友」は、ロータリーについての情報誌という事です。ロータリアン以外の方々を対象にして編集されておりましたが、一般の方にお読みいただき、ロータリーの事を理解していただく為にも有効な情報誌です。新人のロータリアンにとっては、バイブルの様なものであり、ベテランの方々にとっては、全国のロータリーの動向が解る情報源となっております。
3. 「ロータリーの友」は、ロータリアンの公開討論の場です。各職業の専門知識等を掲載し、交流を図る場を提供します。しかし、多忙な皆さんには細部に亘り読んでいただけないのが現状であります。私共は、この反省に基づき、多くのロータリアンに楽しく読んでいただく為、全員が参加し、全員が共に歩んでいる雑誌として、新しい企画を実施いたします。

- [1] 表紙を親しみ易いイラストで飾ります。ロータリーの国際的な活動イメージを残しながら、日本のロータリアンの雑誌を表現するイラストです。
- [2] 「ニュージェネレーション」の連載を開始します。インターアクター、ローターアクター、青少年交換、財団学友、米山奨学生、同学友でロータリーのプログラムに参加している(したことがある)10代~30代の若者が、今打ち込んでいる事や、未来の夢に向かって努力している事を掲載いたします。
- [3] 「私の一冊」の連載開始。ロータリアン及び家族の方を対象に、最近読んで感動した本、人生を変えた一冊のご投稿を掲載致します。
- [4] 「声」を開始します。「友」に関する建設的ご意見、感想、質問を掲載するページを設けますので、ご気軽に皆さんの声を寄せていただきたいと思います。特に、2510地区69クラブの内、会員数が20名を割るクラブに、出来る限りスポットを充て、少人数が故の特別な苦労や特色、他にはないキラリと輝く個性等を、出来る限り広くお知らせする様に、頑張ってお参ります。是非皆さんからの御投稿をお待ち申し上げます。



クラブ職業奉仕委員会は 何をすればいいの？

地区職業奉仕・基本理念委員会

委員長 玉井清治

(函館亀田RC)

職業を持っているロータリアンは、自らの職業を通じて奉仕活動の実践をすることができます。しかし、ロータリークラブという組織は職業を持っていませんから、直接、職業奉仕活動を実践することは不可能です。しかし、職業奉仕とは何かをロータリアンに教えることは可能です。クラブの職業奉仕委員会が中心になって、正しい職業奉仕の理念を会員に周知徹底することこそ、クラブとしての実践活動です。

今月は会員の職業奉仕活動を支援する立場にあるクラブの職業奉仕委員会の役割について考えてみたいと思います。

ロータリーの奉仕活動の実践は個人奉仕が原則であって、クラブが行う奉仕活動は会員の訓練のための例示、あるいは、会員個人の職業奉仕活動の手本であることが、決議 23-34 の第 6 条 g 項に明記されています。

ロータリークラブは職業人の固い絆で結ばれた集まりですから、まず何よりも会員各自がその職業に関係する全ての人々の立場に立ち、高い倫理観をもって職業活動を行なうことだと思います。そのような会員を育てる道場が、ロータリークラブであり、毎週の例会ではないでしょうか。例会での異業種の人たちとの交流を通して、自己の道徳的能力、専門的能力を高め、その成果を職場に持ち帰って職場の人達やその関係者の能力向上に努め、再び例会に持ち込んで、異業種の会員と情報交換するということの繰り返しで、自己の道徳的、専門的能力を高めていくのが、例会出席の意義です。そのためのプログラムの立案・実行、すなわち「入りて学び、出でて奉仕せよ」のための研修と勉強会の支援がクラブ職業奉仕委員会の大切な役割です。

クラブ職業奉仕委員会の実践活動例を下記の通り記述いたしました。参考にさせていただければ幸いです。

1. 職業奉仕に関する情報を年に 3 回から 6 回委員会が提供し、会員とともに話し合う。
2. 会員に対し、関係する業界、職場、地域社会において「奉仕の理想」にかなう行動を起こすにはどうすればよいかをともに考える。
3. 単なる職業紹介でなく、職業倫理・道徳に照らしての成功例・失敗例等の卓話・フォーラムを行う
4. ロータリーに関する勉強会を委員会主催で行う
5. 会員の職業（専門的知見）を生かした奉仕（出前授業、職場体験学習、よろず相談等）を行う。

しかし、何より大事なことは、ロータリアン一人一人が日々の暮らしの中で、常に奉仕の心を持って行動することでしょう。

ロータリアンのバイブルと云われている〈決議 23-34 の第 6 条 g 項〉をご紹介します。

クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広くすべてのロータリアンの個々の力を動員するものの方がロータリーの精神によりかなっていると言える。それは、ロータリー・クラブでの社会奉仕活動は、ロータリー・クラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられた、いわば研究室の実験としてのみこれを見るべきであるからである。(引用：用語便覧 2008)

—監修：塚原房樹 P G (札幌東 R C) —



地区クラブ支援委員会について

地区クラブ支援委員会

委員長 **渡 邊 葉 子**

(札幌西北RC)

国立金助ガバナーは、地区委員会と各クラブとの連携強化を目標の一つとして挙げられております。地区委員会はクラブを支援する大切な役割を担っております。各クラブから地区への相談窓口として設置された“クラブ支援委員会”を大いにご利用ください。地区内には、パストガバナー初めロータリーについて造詣の深い方が沢山居られます。クラブ活動で情報が必要な時には、お気軽にご相談ください。適任者・文献等をご紹介します。これまでの1ヶ月半で寄せられましたお問い合わせは、1件。卓話依頼5件でございました。引き続き宜しく願いいたします。

RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)について、ご案内させていただきます。

RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)は1992年アメリカ7510地区に於いて発案された研修組織です。日本支部は2008年、スタートしております。2013年規定審議会でRIのプログラムとするよう決議されましたが、既に充実したプログラムとして成功しているとのこと。もしRIのプログラムに組み込んだ場合、保証を与えるために管理的な重荷を引き受けることになるなどの理由で、別組織として活動しております。目的は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにある。とされております。ロータリーについて学びリーダーを育てるという事です。日本34地区中、本年度から19地区が会員として参加しております。

私は、これまでロータリーについて学ぶ機会が少なく、先輩ロータリアンのお話の中か

ら学ぶ事が主でした。それは時間の要することで入会20年になりますが、まだまだ分からない事ばかりです。是非、地区として、RLIに参加頂き研修の機会をいただきたいと存じます。2002-2003年度RI会長ビチャイ・ラタクル氏が、「世界の近代化に沿って、私たちは変化しなければならぬ。“変化”は避けられませんが、ロータリーの基本的な哲学と超我の奉仕の理念を妨げない変更でなければならぬのです」と言われております。ロータリーの基本を理解することは、会員にとって、とても大切なことです。

北海道においても、人口は2015年をピークに急速に減少しております。特に若年層の人口減少が、社会に与える影響は多大なるものがあると思われれます。ロータリーも然り。

あるパストガバナーが、「私は、ロータリーと邂逅できたおかげで、人生について少し学ぶ事が出来ました。もしロータリーと巡り会っていなければ、私の人生はどうなっていたでしょうか」と言われております。若い人びとに多くの学びの場を得るロータリアンになっていただきたいと考えます。

ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI) 日本支部: <http://rlijapan.com/> ホームページからテキストのダウンロードも出来ます。一度覗いてみてください。

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

深川・妹背牛ロータリークラブ 7/11(火)

7月11日、第1グループ深川RC・妹背牛RCとの合同例会に国立金助ガバナーが、藤井方雄ロータリーの友地区代表委員と共に公式訪問されました。

お二人は前日より深川入りされ、公式訪問当日は、朝一番に深川市役所に赴き、山下貴史深川市長を表敬訪問されました。その後、会長・幹事懇談会、クラブ協議会を経て、例会において国立ガバナーより、地区活動方針のスピーチを頂きました。

国立ガバナーからは、国際ロータリーのイアン・ライズリー会長のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」であり、これは素晴らしい言葉であると思う、我々が行動すれば行動するほど世界が変わるとのお話がありました。

第2510地区の目標については、会員増強3%、情報の共有、環境保護として、120万本の植樹、財団寄付5%の増額を目指すことと決めていただいたので、協力をお願いすること。

また、「取り戻そうロータリーの心」、そして「伝えよう次世代を担う少年たちへ」これは、もう一度ロータリーを見つめ直し、青少年に我々の理念を理解していただき、人の役に立つ、素晴らしいさを知っていただくということなど、私達がロータリーアンとしての活動を再確認することに繋がるお話でありました。

地区では、道民の森での植樹を9月9日に行う予定です。深川ロータリークラブとしても積極的に参加させて頂くことをお伝えしました。例年通り最初のガバナー公式訪問であります、国立ガバナーのお人柄に触れることができ、会員一同感謝しており、今後の活動の糧とさせて頂きます。



俱知安ロータリークラブ 7/12(水)

7月11日、ガバナー公式訪問を前に前泊されるとお聞きし、お疲れのところとは思いましたが、「ガバナーを囲んで」を企画しました。令夫人もご出席してくれまして、楽しい時間を一緒にさせて頂きました。

翌日12日は、松本秀雄地区幹事、泉 侑第6グループガバナー補佐、上参郷光祐ガバナー補佐事務局の方々と公式訪問されました。午前10時30分から会長、副会長、幹事での会長、幹事懇談会、11時からのクラブ協議会では、各委員長からの活動計画を発表した後、国立ガバナーから感想及び具体的なご指摘、ご指導を頂きました。12時15分からの例会では、本年1月の国際協議会の様子、国際ロータリーテーマ、地区の目標及び、地区テーマについて丁寧にお話して頂きました。国立ガバナーの素敵な笑顔にクラブ会員一同、元気を頂いた公式訪問になりました。



赤平ロータリークラブ 7/18(火)

国立ガバナーによる赤平ロータリークラブへの公式訪問は新年度に入って間もない7月18日(火)のことでした。

当日は国立ガバナー、佐藤ガバナー補佐が当クラブを訪れてくださいました。通常の例会会場から開催場所が変更となり地域福祉ターミナル「ていく」にて開催しました。例会場が新しい施設のため場所探しにお手数をかけてしまいました。

10時から会長・幹事懇談会が始まり、クラブ協議会、ガバナー公式訪問例会とスケジュールは順調に進み、どの会議も有意義な意見交換の場となりました。

国立ガバナーは終始、温厚なお人柄ながらどの場面でもガバナーとしての熱い思いが伝わってきて、会長・幹事懇談会から例会まで我々に多くの指導をいただきました。

公式訪問例会では卓話をいただきましたが具体的なお話や「数字」でイメージの湧く卓話をいただきました。RI会長のお人柄や思いのお話も興味深いものでした。ガバナーには函館より前泊入りでお越しいただき、当クラブ会員にも親しく交流いただき重ねてお礼申し上げます。



岩見沢東ロータリークラブ**7/18**

ガバナー公式訪問が、7月18日に当クラブの例会会場である岩見沢平安閣において、国立ガバナー、第3グループ山本ガバナー補佐、上野ガバナー補佐幹事をお迎えして行われました。

当日は午前中の赤平RC訪問に引き続いての当クラブ訪問でした。

会長・幹事懇談会では、会長、幹事の他に、会長エレクト、副会長、副幹事も交えて当クラブの活動内容などを説明させて頂きました。引き続いてのクラブ協議会では、各委員長より活動計画を説明させて頂き、国立ガバナーより、各委員会ごとのご講評を頂きました。

協議会後の例会は、和やかな雰囲気の中で進められ、ガバナーから卓話を頂きました。ロータリーのイメージポスターを各事業所に貼ってもらい、世界でこんなことをしているなど、ロータリーの活動を知ってもらえれば増強につながるのでは、ポリオ撲滅まであと少し、楽しいクラブ運営と家族の絆を大事になど、ガバナーの思いをお話して頂きました。

まだガバナー公式訪問が始まったばかりですので、お体を大事に無事に終わられることを会員一同願っております。

**砂川ロータリークラブ****7/19**

7月19日、国立ガバナー、佐藤ガバナー補佐、山田ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問例会が行われました。

午前10時の会長・幹事懇談会では、砂川クラブの特徴、主なる事業の取り組み等を説明、ガバナーより各事業、会員増強、地区補助金などに関してのご意見を頂きました。11時からのクラブ協議会は理事・役員・委員長出席のもと、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕、財団・米山等とともに会員増強などのクラブ奉仕部門の活動計画について発表され、ガバナーからは適切なアドバイスを頂きました。12時30分からの公式訪問例会は、完全100%出席の中でガバナーをお迎えすることができました。

国立ガバナーから地区数値目標・推進目標や地区運営方針等について卓話頂きました。国立ガバナーの今年度の思いが伝わる大変有意義な時間となりました。

そして、その思いが、100%例会出席という形になったのだと思います。

訪問頂いた国立ガバナー、佐藤ガバナー補佐、山田ガバナー補佐幹事に感謝申し上げ、報告といたします。

これからのご活躍をお祈りしております。

**芦別ロータリークラブ****7/20**

7月20日、国立ガバナー、第2グループ佐藤ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問が開催されました。

例会前の会長・幹事懇談会は、コーヒーとケーキをいただきながら、当クラブの現況並びに取り組み等に対し、ガバナーより助言と講評をいただきました。

その後、各委員長を交えてのクラブ協議会では芦別クラブの事業紹介として、永年行われている物故会員追悼例会や市内高校と連携した就職希望者への模擬面接、「ロータリーの森」の整備事業、各委員会からの活動方針等をご説明させていただきました。その中で創立60周年事業として「日台友好青年の翼」を立ち上げ、市内高校生と大学の学生17名を同行し、台北の現地学生や台北RCとの初交流体験事業に、ガバナーがとても高い関心を示されました。青少年を対象とした事業に視点を向けたことへの評価や立ち上げるまでの過程の大変さをお汲み取り下さり、地域の頑張りに労いのお言葉もいただきました。

卓話の冒頭、「妻が傍にいていつでも心が落ち着くんですよ」と、目を細められ、その愛妻家ぶりも垣間見られました。約3時間の滞在でしたが、国立ガバナーのお人柄でしょうか、終始穏やかで和やかな雰囲気のもと有意義な公式訪問を滞りなく終わることができました。

国立ガバナーからいただきました貴重なご助言等を今後の芦別クラブの更なる発展に繋げて参りたいと思います。



長沼ロータリークラブ

7/24日

7月24日、国立ガバナー、福田ガバナー補佐、藤井ロータリーの友地区代表委員をお迎えし、本年度の第7グループ内で最初のガバナー公式訪問が長沼クラブで開催されました。午後5時より会長・幹事懇談会を開き、クラブ活動計画・クラブの現況について、和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。

引き続き午後6時よりのクラブ協議会では、各委員長さんより本年度の活動方針と活動計画を発表させて戴き、国立ガバナーからは明るく楽しいクラブ活動を、「長沼国際フェスティバル」の件では是非継続事業としてほしいと、また地区の「クラブ支援委員会」を是非利用してほしいとの助言を頂きました。

午後7時より例会が開催され、国立ガバナーのご講演では地区目標とロータリーのイメージホスターについての説明がありました。当日の例会は月の最終例会でしたので、お酒を戴きながら、楽しく懇親を深めることが出来ました。また来年5月12日の「第26回・長沼国際フェスティバル」に国立ガバナーから出席の約束を戴き、会員一同が有意義な時間を過ごすことが出来、誠にありがとうございました。



千歳セントラルロータリークラブ 7/25日

7月25日、国立金助ガバナー、福田武男ガバナー補佐をお迎えし午前10時より会長、幹事、会長エレクト懇談会を行いました。

映像により、これまでのクラブの活動内容をご紹介した後、四方信次会長より活動方針と概要を発表。

各年度により手法に違いはありますが、数年来継続して社会奉仕活動として取り組んでいる東日本大震災復興支援事業と支笏湖周辺復興の森づくり事業をはじめとする緑化推進事業、会員増強について特に興味と期待を示されていました。

続いて午前11時より行われた理事懇談会では、国立金助ガバナー、福田武男ガバナー補佐からご挨拶を頂いた後、各理事からの活動計画と抱負の発表を聞いて頂きました。

国立金助ガバナーからは、地区の組織改革や地区内クラブへの支援・応援体制の改革について非常に丁寧に説明いただき、ご教示頂きました。

その後、地区への要望事項の聞き取りもしていただきました。

その後の例会で、昨年度の例会出席率100%会員9名への表彰状を授与していただきました。

卓話では、RI及び地区目標・推進目標・重点課題、3枚のポスター作成までの経緯、歴史的瞬間を迎えようというポリオ撲滅運動、米山記念奨学会、環境保護への取り組みについての説明とご依頼がありました。

国立金助ガバナー、福田武男ガバナー補佐のお人柄を感じ、終始和やかな雰囲気で開催を終了することが出来ましたことを会員一同、心より感謝申し上げます。



苫小牧北ロータリークラブ

7/25日

7月25日、国立ガバナー、佐藤ガバナー補佐、松本地区幹事をお迎えして公式訪問が開催されました。午後4時よりの会長・幹事懇談会では、当クラブが提唱し発足したRCC苫小牧家庭生活カウンセリング協会の活動について、また37回目を迎える北ロータリー杯少年サッカー大会の主催事業に対してクラブとしてのこれからの係わり方についての説明をさせていただき、国立ガバナーからご指導を賜りました。午後5時よりのクラブ協議会では各委員長から委員会の活動方針の説明がなされ、国立ガバナーとの意見交換を行い午後6時より例会を開催しました。例会では、国立ガバナーよりイメージ・ポスターの製作に至ったお話、ポリオ撲滅と米山奨学会に対する現況報告、

120万本植樹に向けた取り組み、新会員研修セミナーについて思いを聞かせていただきました。午後6時30分よりのビール・パーティには国立ガバナーの奥様も一緒にご参加され、短い苫小牧の夏を会員家族と一緒に楽しみいただきました。

新年度が始まってすぐに公式訪問を受けられたことは1年間のロータリー活動を推進する上でのたくさんのご教示を頂いた事とともに感謝致しております。国立ガバナー、佐藤ガバナー補佐、松本地区幹事、本当にありがとうございました。



白老ロータリークラブ

7/26水

7月26日、第12番目のガバナー公式訪問クラブとして白老ロータリークラブへ、国立金助ガバナー、ガバナー夫人の優子様、松本秀雄地区幹事、佐藤 正第12グループガバナー補佐がおいでくださいました。今夏は、白老でも珍しく、例年になく暑い夏で、そのさなか早朝からのご訪問でありました。

10時からの会長・幹事懇談会では、当クラブの特徴、今年度予定事業をお話し、ご指導・ご助言をいただきました。続いてのクラブ協議会では、国立ガバナーから大変参考になるご講評を、また、当クラブのこれまでの事業に対する評価も頂戴いたしました。クラブ例会では、当クラブが長年続けているおいしい例会、特にガバナー公式訪問定番メニューの『白老牛すき焼き』を優子夫人ともども味わっていただきました。例会の中では、今年度作成された大型ポスターへの思い、会員増強への思いを含めわかりやすいお話をいただき、会員一同深く感銘いたしました。

例会終了後、白老町へ表敬訪問くださり、戸田町長、古保副町長ともご歓談いただきましたことに対しまして御礼申し上げます。

残り57クラブの訪問は激務のこととは存じますが、ご健康に留意されつつがなくお過ごしくださいますようお願いし、公式訪問のお礼とさせていただきます。



千歳ロータリークラブ

7/27木

国立金助ガバナーと第7グループの福田武男ガバナー補佐(千歳RC)は、午前10時から例会場のANAクラウンプラザホテルでクラブ三役と今野会長エレクトとの会長・幹事懇談会に。瀧澤順久会長は奉仕の根源を「愛」とし、そこから五大奉仕を示す会長方針「あなたの愛を 地域へ 世界へ そして未来へ」と、2018年4月に迎える創立50周年の記念事業に取り組みつつRIや地区の目標にも応える考えを説明しました。国立ガバナーから、地区「クラブ支援委員会」利用を、と心強い発言がありました。

引き続き松本秀雄地区幹事が加わり、クラブ協議会。各委員長も出席して具体的計画を説明、国立ガバナーは80年計画の27年目に入った分収造林「千歳ロータリーの森林(もり)」事業、千歳ローターアクトクラブ30周年支援などに関心を示しました。年度当初に7人が入会し70人とした会員増強、それに伴う財団寄付増額など数値目標クリアの見通しを評価。植樹や世界ポリオデーの具体化をアドバイスし、My Rotary活用を促しました。

国立ガバナー肝いりで制作した3枚のポスターを掲示した例会場では、瀧澤年度が掲げる「季節感のある食事」第一弾で2日前の土用丑の日にちなむ天然ウナギの蒲焼丼が好評で「ニコニコBOX」につながっているのを目の当たりに。卓話で3枚のポスターをひも解く形で世界のロータリアンと友達に、ポリオ撲滅は目の前、米山記念奨学会への理解と基金寄付を一と呼び掛けました。



「120万本の植樹事業」ロータリーの森 植樹祭ご案内

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 国立金助
社会奉仕委員長 高山和宏

【開催日時】：2017年9月9日(土) 13時30分～15時00分(雨天決行)

※雷雨・台風等やむを得ず中止の場合は、各クラブ連絡担当者へ前日24時までご連絡いたします。

【開催場所】：当別町 道民の森・神居尻地区(当別町より約40km)

北海道石狩振興局「水源の森づくり」Gゾーン

- 集合時間：12時45分(集合前に食事は各自でお済ませください)
- 集合場所：神居尻総合案内所(大きな駐車場があります)
- 参加人数：ロータリアン及び家族 約210名/インターアクトクラブ会員 約80名

《当日の服装等》

汚れてもいい服装(雨天時カッパ)・長靴・軍手・帽子・タオル・家庭用ショベル(土をかける程度)

※植樹用の穴は用意済みですので、剣先スコップは不要です)

新会員のご紹介

(敬称略)



江別RC
日高 淑
7月20日入会
廃棄物処理業



岩見沢RC
谷口 秀治
7月20日入会
電力供給



岩見沢RC
平川 卓
7月27日入会
信用金庫



岩見沢RC
倉増 静久
7月27日入会
自動車学校



函館RC
村上 玉樹
7月27日入会
旅客フェリー



函館RC
山本 真作
7月27日入会
電信電話事業



小樽RC
本多 浩寿
8月1日入会
商業地方銀行



小樽RC
中川 充子
8月1日入会
新聞発行



苫小牧RC
荒木 伸二
8月4日入会
石油精製



苫小牧RC
伊藤 憲儀
8月4日入会
電気通信



伊達RC
廣中 学
8月1日入会
メンテナンスサービス



伊達RC
菊谷 義統
8月1日入会
土地家屋調査



伊達RC
山本 勇
8月1日入会
建築材料卸売業



苫小牧RC
石川 郁
8月18日入会
新聞発行

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します

岩見沢ロータリークラブ

武 藏 信 一 第34代会長・名誉会員

平成29年7月26日ご逝去 (享年86歳)



【ロータリー歴】

1978(昭和53)年4月 入会
1985~1986年度 副会長
1986~1987年度 会長エレクト
1987~1988年度 第34代 会長

【表彰】

30年 100% 出席、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(3)、
ベネファクター、米山功労者マルチプル(5)

米山奨学生の紹介



『私の日本留学生活』

ウ カイ メイ
于 海 明 (小樽RC)

于海明と申します。出身は中国東北地域のハルビン市です。今は小樽商科大学商学研究科に所属しております。私は中国の大学を卒業してから日本に留学しました。私は母国以外の世界を見たく、視野を広げるために留学を決意しました。日本を選んだのは、距離的にも文化的にも中国と近いながら、その違いに興味を持ったからです。北海道で2年間の生活で、北海道の人に大変お世話になりまして、いろいろな思い出を作りました。商大の先生たちが研究に励む姿を見習い、日々研究に励んで、きちんと修士論文を完成するのは現段階の第一目標です。

休みの時、友達と一緒に北海道を旅行し、美しい風景や、温泉、美食を楽しんでいます。一生忘れられない出会いはたくさんあります。最も言いたいのはボランティアとして商大の「日本語テーブル」に通ったお

じいちゃん、おばあちゃんたちとのつながりです。日本語だけでなく、日本社会常識や風俗などをいろいろ教えてくれました。書道、折り紙、着物、伝統の日本ゲームなどの貴重な体験を提供していただきまして、誠にありがとうございました。地元の人に恵まれている私は北海道との絆がますます強くなりました。私にとって、北海道は美食と美景より、このような優しい人たちがいることこそ、一番魅力的です。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌RC	小山 司	会員 (6回)	7月19日
室蘭北RC	齊藤 俊一	会員 (1回)	7月28日
室蘭北RC	西尾 静枝	会員 (2回)	7月28日
登別RC	遠藤 秀雄	会員 (8回)	7月 6日
函館RC	竹田 公一	会員 (3回)	7月20日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌C	相茶 俊介	会員 (4回)	7月14日
札幌北RC	福田十太郎	会員 (8回)	7月21日
函館五稜郭RC	石坂 仁	会員 (6回)	7月 3日
函館東RC	黒島 一生	会員 (2回)	7月26日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2017.8.10

ハイライトよねやま Vol.209

来春採用の奨学生募集がスタート

2018年4月の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で534(前年度532校)。

指定校からの被推薦者数は1,733人(前年度1,748人)で、この中から新規奨学生574人*1が選ばれます。

*1 継続奨学生からの辞退者発生により変動有
地区奨励奨学金(大学・大学院以外の教育機関在籍者が対象)を導入した地区は12地区で、指定校は23校、そのうち初指定は2校でした。

地区独自の選考基準(地区選考の目安)を提示したのは、34地区中30地区で、最も多かった要望は「被推薦者の国籍が偏らないよ

うに配慮してほしい」、次いで「ロータリー活動への積極性」「日本語運用能力」などが挙げられました。

募集要項・申込書と指定校の発表および全指定校へのメール案内は、常務理事会承認後、8月2日に行いました。

※2018学年度採用の指定校名や募集要項・申込書は当会ホームページにて公開しています。



記事の続き、および、その他の記事はぜひPDF版をご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight209_pdf.pdf

2020-2021年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 国立金助
地区ガバナー指名委員長 羽部大仁

2020-2021年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第14条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2017年9月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第2ゾーン担当

新しい年度が始まりもう2ヶ月。私の仕事はゾーン1、2、3の各種コーディネーターの皆様と力を合わせて会員増強のために動くことです。GEの皆様をお願いしたい事を以下にまとめました。

- ①名門クラブと歴史あるクラブの皆様はロータリーの矜持を維持し、よりクラブ運営を強化して頂くこと。
- ②いつの間にか(多分ここ10～15年の間に)30人未満のクラブになってしまった我がクラブを町おこしの中心クラブになっていただくためにクラブのビジョン声明を3年以内に作っていただくこと。
- ③分区(地域の線引きによる区分)を越えて1分区あるいは2分区から3分区で一つのクラブを新しく作っていただくこと。等を提案申し上げたいと思います。2017-18年度は準備期間、2018-19年度、20年度は立ち上げ期として用意されることをお勧めします。日本のメンバー10万人の復活を夢見ています。

国際ロータリー理事 斎藤 直美



ロータリーの 中核的価値観

奉仕 (Service)
親睦 (Fellowship)
多様性 (Diversity)
高潔性 (Integrity)
リーダーシップ
(Leadership)

ロータリーの中核的価値観について

世界の変化にロータリーが追いついていく必要を認めたのは、2015年10月のRI理事会・財団管理委員会でした。時の流れの速い現代社会では、ロータリーの競合団体が数多く作り出され、ロータリーの特色が薄れ、会員のメリット、価値を実感できなくなっています。再び他の団体と異なる輝ける団体で存続するためには、ビジョンを持ち続けることです。そして自分たちのアイデンティティであるロータリアン其々が持っている共通の価値観、すなわち親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップの5つの中核的価値観を意識して行動することです。

ロータリーが初めて創られたのはお互い正直に語り合える楽しい仲間を作ること、つまり親睦からでした。そして己の利益だけでなく、人に良いことをする、いわゆる利他の心が奉仕になりました。それは自分を律し、品格を高めることとなり、高潔性を生み出しました。いろんな会員が増えることで寛容を必要として、多様性を育みました。ロータリアン一人ひとりが職業・地域社会のリーダーであることの自覚が必要となってきました。しかしロータリーのリーダーシップは支配型(牽引型)リーダーシップではなく、目標に向かって進む仲間を応援することです。管理・命令といった上から目線で指導する従来のリーダーと異なり、相手に対する思いやりや奉仕の精神を常に置くことが特徴です。トップダウンの一方通行でなく対話型のリーダーシップです。これをサーバント・リーダーと呼ばれています。利他を意識し、組織を己の力で支配しようとするサーバント・リーダーは組織に強い絆をもたらします。ロータリーならず一般企業でも新しいリーダー像として信頼され用いられています。

この名称を作ったアメリカのロバート・グリーンリーフは「リーダーである人はまず相手に奉仕し、その後相手を導く」と著書にサーバント・リーダーについて書き残しています。

第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中 正規



第2780地区横須賀RC「10,000メートルブルームナードグリーン作戦」に参加した横須賀市を拠点とした6ロータリークラブ、ローターアクト、ボーイスカウト、6高校からの621名の参加者

行動をもって「公共イメージと認知度の向上」を推進しましょう

イアンH. S. ライズリーRI会長は、「ロータリーとは何ですか?」という問いに「自らの『行動』によって答えましょう」と述べました。ロータリーの「公共イメージと認知度の向上」への取り組みにおいても、「ロータリアンの行動する姿」を見てもらうのが一番効果的であると実感しております。

私の所属する第2780地区横須賀ロータリークラブ(神奈川県)では、10年前より毎年「10,000メートルブルームナードグリーン作戦」を開催しています。地域の清掃ボランティア活動ですが、今年は3月12日の日曜日に実施。横須賀市に拠点を置く6つのロータリークラブ、ローターアクト、ボーイスカウト、6高校から総勢621名の参加がございました。この621名が6つの出発点に別れて一斉にスタート、清掃活動をしながらかつて市民と触れ合いながらゴール地点である横須賀港湾岸緑地である「海辺つり公園」を目指しました。清掃活動をする私達の行動を、昇り旗のロータリーの文字を、キャップについたロータリーのロゴをいったい、何千人、何万人の市民が見たことでしょうか。

私自身もこの活動をしていて、多くの市民の方と触れ合ったり、挨拶をしたり、そして人の目に触れている事を実感致します。人間の五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)の内、最も情報摂取量が多いのは全体の87%を占める「視覚」なのです。「ロレックス」は世界的一流の時計ブランドですが、「ロレックス」という皆様はすぐに「腕時計」をイメージされるでしょう。

何故でしょうか? 腕時計は「行動」する人の腕にあるからです。つまり「行動性」があるので、他人の目に触れる機会が多いのです。一方、壁掛け時計は自宅の壁に固定されているため、他人の目に触れる機会が少ないのです。私達は行動する事によって、そしてその姿をより多くの人に見てもらおう事によって「公共イメージと認知度の向上」を推進して参りたいと存じます。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 渡辺 治夫

地区カレンダー（9月・10月）

9月 基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間	
1 (金)	～2(土) 地区野球大会(伊達)
2 (土)	函館東RC創立60周年記念式典(函館)
3 (日)	米山奨学生研修旅行予定
4 (月)	～5(火) 第1回ガバナーエレクト 研修セミナー(東京) 公式訪問(札幌北RC)
5 (火)	公式訪問(札幌清田RC、栗山RC)
6 (水)	2018-19地区研修リーダーセミナー(東京) 第1ゾーン次期地区指導者研修会(東京) 公式訪問(札幌真駒内RC)
7 (木)	公式訪問(札幌西北RC)
8 (金)	
9 (土)	地区120万本の植樹祭(当別)
10(日)	
11(月)	
12(火)	公式訪問(札幌西RC)
13(水)	公式訪問(札幌RC)
14(木)	公式訪問(札幌東RC)
15(金)	公式訪問(札幌幌南RC、札幌大通公園RC)
16(土)	第18回ローターアクトアジア第1ゾーン会議(埼玉)
17(日)	
18(月)	敬老の日
19(火)	
20(水)	公式訪問(札幌モーニングRC)
21(木)	公式訪問(江別RC、美唄RC)
22(金)	
23(土)	秋分の日 第14回ロータリー韓日親善会議(韓国・ソウル)
24(日)	
25(月)	公式訪問(札幌南RC)
26(火)	公式訪問(北広島RC、札幌はまなすRC)
27(水)	公式訪問(新札幌RC)
28(木)	公式訪問(滝川RC、岩見沢RC)
29(金)	
30(土)	

10月 経済と地域社会の発展月間 米山月間	
1 (日)	
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	公式訪問(恵庭RC)
5 (木)	公式訪問(由仁RC)
6 (金)	
7 (土)	
8 (日)	
9 (月)	体育の日
10(火)	
11(水)	
12(木)	
13(金)	地区大会記念ゴルフ大会(七飯)
14(土)	地区大会(函館)
15(日)	地区大会(函館)
16(月)	
17(火)	
18(水)	
19(木)	
20(金)	公式訪問(函館五稜郭RC)
21(土)	
22(日)	
23(月)	公式訪問(長万部RC)
24(火)	公式訪問(江差RC)
25(水)	公式訪問(森RC)
26(木)	
27(金)	
28(土)	～29(日)北海道ローターアクト交流会予定(千歳)
29(日)	
30(月)	公式訪問(函館亀田RC)
31(火)	公式訪問(七飯RC)

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2017.7.31	増	減	
1	深川	3	30	33	3	2	82.42
	羽幌	3	45	45	0	2	75.55
	妹背牛	4	7	7	0	0	85.71
	留萌	5	34	35	1	3	86.00
	小計		116	120	4	7	82.42
2	赤平	4	29	29	0	1	80.56
	芦別	4	32	32	0	2	80.17
	砂川	4	41	41	0	1	96.10
	滝川	4	87	94	7	4	73.00
	小計		189	196	7	8	82.46
	3	美唄	4	29	29	0	0
江別		4	32	34	2	1	89.39
江別西		4	29	30	1	4	95.80
岩見沢		4	75	78	3	0	94.20
岩見沢東		4	19	19	0	2	81.95
栗沢		4	19	19	0	1	90.30
栗山		3	26	26	0	4	81.33
当別		3	27	27	0	0	93.27
小計			256	262	6	12	88.01
4	札幌	3	117	120	3	1	97.69
	札幌はまなす	3	21	21	0	3	71.43
	札幌北	4	42	42	0	4	88.74
	札幌モーニング	3	34	35	1	0	75.25
	札幌西	3	48	48	0	9	75.40
	札幌西北	4	34	34	0	3	82.50
	札幌手稲	4	39	39	0	4	87.11
	小計		335	339	4	24	82.59
	5	札幌東	4	132	132	0	0
札幌清田		4	13	13	0	4	100.00
札幌幌南		4	66	66	0	9	98.42
札幌真駒内		3	23	24	1	5	100.00
札幌南		4	85	88	3	1	96.87
札幌大通公園		2	13	15	2	3	56.60
新札幌		3	24	24	0	3	82.97
小計			356	362	6	25	90.40
6	岩内	2	21	21	0	1	73.81
	倶知安	3	40	40	0	4	72.00
	小樽	4	73	74	1	3	79.38
	小樽南	3	67	67	0	2	94.60
	小樽銭函	3	19	19	0	1	84.20
	蘭越	4	10	10	0	0	90.00
	余市	4	45	45	0	6	88.80
	小計		275	276	1	17	83.26

※札幌幌南RCIには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員5名)を含む

7月出席率・
会員増減数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,551人
当月末会員数(女性)	2,613人(155人)
増加会員数	62人
当月平均出席率	82.29%

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2017.7.31	増	減	
7	千歳	3	63	70	7	7	81.33
	千歳セントラル	4	43	43	0	7	77.33
	恵庭	4	48	51	3	3	78.45
	北広島	3	20	20	0	1	81.48
	長沼	3	17	17	0	3	82.30
	由仁	2	7	7	0	0	57.14
	小計		198	208	10	21	76.34
8	えりも	2	16	16	0	1	93.75
	三石	3	12	12	0	0	63.30
	様似	3	18	18	0	1	70.91
	静内	4	69	69	0	4	78.50
	浦河	3	26	27	1	2	67.90
	小計		141	142	1	8	74.87
	9	伊達	4	60	61	1	1
室蘭		4	33	35	2	1	72.92
室蘭東		4	31	34	3	0	73.50
室蘭北		4	42	47	5	3	78.64
登別		4	28	28	0	1	82.14
洞爺湖		2	10	10	0	0	85.00
小計			204	215	11	6	79.37
10	函館	3	76	83	7	0	76.43
	函館亀田	4	40	41	1	4	78.23
	森	3	36	36	0	0	74.00
	七飯	4	12	12	0	0	83.00
	長万部	3	8	10	2	0	65.30
	函館セントラル	4	22	22	0	2	78.41
	小計		194	204	10	6	75.90
11	江差	2	11	11	0	1	77.27
	函館五稜郭	4	55	58	3	0	85.23
	函館東	4	45	44	-1	7	76.16
	函館北	3	20	20	0	0	91.49
	北斗	4	13	13	0	0	67.30
	小計		144	146	2	8	79.49
12	白老	3	29	29	0	3	85.00
	苫小牧	4	55	55	0	3	84.72
	苫小牧東	4	29	29	0	5	91.20
	苫小牧北	4	30	30	0	2	98.22
	小計		143	143	0	13	89.79
	合計		2,551	2,613	62	155	82.29



ロータリー：
変化をもたらす

2017-2018年度 国際ロータリー第2510地区

地区大会

ホストクラブ

函館ロータリークラブ

コ・ホストクラブ

森RC / 長万部RC / 七飯RC / 函館亀田RC / 函館セントラルRC
函館東RC / 江差RC / 函館北RC / 函館五稜郭RC / 北斗RC

第1日目

会場 五島軒本店

2017 10/14 土

13:00 会長・幹事会
14:30 地区指導者育成セミナー
講師 2012-2013年度 RI 会長
田中作次様
『「ロータリーを語ろう」
-RI活動について-』
18:00 RI 会長代理歓迎晩餐会
会場 五島軒本店

第2日目

会場 函館市民会館

2017 10/15 日

9:00 式典・本会議
10:30 スパウス
13:00 記念講演会
講師 元 RI 理事・裏千家大宗匠
千玄室様
『茶の心 ロータリーの奉仕』
16:30 懇親会 会場 函館アリーナ

MEMORIAL GOLF TOURNAMENT

2017 10/13 金
記念ゴルフ大会

登録料 5,000円

【会場】
北海道カントリークラブ大沼コース
〒041-1392 亀田郡七飯町西大沼
TEL(0138)67-2211

スパウス

2017 10/15 日
AM 10:30 ~ PM 3:30

秋の函館めぐり

五稜郭公園 元町散策 函館山山頂

登録料

- 会員 15,000円
- ご家族 10,000円
- 青少年・学友 5,000円
- RI 会長代理歓迎晩餐会 12,000円



2017-2018年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会事務局

〒040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル 4F
TEL : 0138-23-3870 / FAX : 0138-22-2251
E-mail : rotaryku@poppy.ocn.ne.jp

文庫通信

(359号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は
勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

最近の文献から

「Rotary-かえりみて、あすを考える」	久野 薫 2017 16p (D.2630地区大会)
「ロータリアンの矜持」	藤川享胤 2017 8p (D.2590地区大会の記録)
「2020年東京オリンピックのレガシーとロータリーの多様性」	水野正人 2017 7p (D.2590地区大会の記録)
「危機管理の人生」	安斎 隆 〔2017〕 12p (D.2530地区大会記念誌)
「2030年、そのとき日本は」	国谷裕子 〔2017〕 2p (D.2640地区大会記録誌)
「みどりの力で心の復旧・復興を」	涌井雅之 〔2016〕 11p (D.2530地区大会記念誌)
「人はどうがんと向き合うか？」	垣添忠生 2017 4p (D.2710地区大会特集号)
「青森県の短命県返上活動の現状」	中路重之 2015 7p (D.2830地区大会記録誌)
「障害者アートで社会を変える」	播磨靖夫 〔2016〕 5p (D.2640地区大会記録誌)
「フランス人から見た日本文化のあれこれ」	リシャルル コラス 2017 4p (D.2780地区大会報告書)

(上記申込先: ロータリー文庫)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

表紙の解説

函館は、1854年(安政元年)に締結した日米和親条約により、日本初の国際開港地となった歴史都市です。

そうした経緯もあって、函館市内には「日本で最初」、「北海道で最初」といわれる数多くの建造物や足跡などが現存しています。

月信では、そうした「最初」の数々の中から、13点を選出し、各月の表紙で紹介します。

表紙写真提供/函館市公式観光情報サイト「はこぶら」・函館中央図書館蔵

Rotary
District 2510

